



### カーボンナノチューブ 特徴

軽量で高強度かつ柔軟性が高く、  
高い導電性や熱伝導性を備えており、  
電気・通信産業やデバイス  
産業、ナノテクノロジー分野等で  
重要な役割を果たすことが  
期待されている素材です。

定員  
**30**名  
先着順

# カーボンナノチューブ 活用セミナー

## 2024.11.1 (金)

講演 13:30～15:20

名刺交換会 15:20～16:00

会場：新都心ビジネス交流プラザ4階

埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2

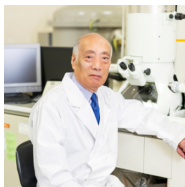
対象：カーボンナノチューブに興味関心のある事業者、カーボンナノチューブを活用したい（検討している）事業者など

今回のセミナーでは、カーボンナノチューブの最新動向や今後の展開、開発に取り組まれている企業の事例紹介等による情報発信を行うことで、カーボンナノチューブの応用展開や活用の可能性について紹介いたします。

基調講演 13:30～14:20

カーボンナノチューブの応用展開  
～炭素循環経済に向けて～

国立大学法人信州大学  
アクア・リジェネレーション機構  
特別栄誉教授 遠藤 守信 氏



炭素循環経済（CCE）は、従来のLinear炭素経済に代わる新たな社会基盤として、炭素の削減、除去、再利用およびリサイクルの概念を包含した、持続可能な環境時代の社会概念である。特に、カーボンナノチューブ（CNT）は、CCEに対して適合性が高く、炭素のリサイクルと再利用に関係して革新的な応用開拓で貢献が期待される。ここでは、CCEの視点からCNTの用途展開について紹介する。

事例発表 14:30～15:20

CNT/Cu複合線の開発と応用

礎電線株式会社  
取締役執行役員  
技術部長 戸田 泰行 氏



軽量化・柔軟性・導電性を特長とするCNTヤーンを日本で初めてエナメル線に適用し、CNTと銅を複合化して導電性の向上を実現した。300°Cの条件下でも抵抗の上昇がなく、高周波特性も優れていることから、高機能用途への利用が期待される。今回の講演では、銅複合カーボンナノチューブの開発と応用について紹介する。

お問合せ

公益財団法人埼玉県産業振興公社  
技術開発支援グループ  
✉ sentan@saitama-j.or.jp  
048-711-6870

URLまたはQRコードよりお申込みください▼  
<https://www.saitama-j.or.jp/seminar/innovation/sozai>  
申込締切：2024年10月30日(水)

